

2022年7月吉日

社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会
名身連聴覚言語障害者情報文化センター
(略称:名身連聴言センター)

遠隔要約筆記派遣のご利用手引き(変更版)

「遠隔要約筆記」とは、聴覚障害のある方への情報保障のため、Zoom(アプリケーション)とインターネットを利用して遠隔地にいる要約筆記者が入力した文字情報(要約筆記)を伝える方法です。

1. ご依頼方法について

- ・メール、FAX、郵送、来所の方法のいずれかの方法でご依頼ください。ホームページに掲載してある申込書をご利用ください。
- ・申込書の内容や時間により、要約筆記者の人数調整をします。
- ・利用者(団体・個人)は、あらかじめ Zoom ミーティングをスケジュールしていただき、環境整備をしていただくことになります。
ミーティング ID、パスワード、URL をメールにてお知らせください。
- ・要約筆記者は、開始時間の1時間前から準備をします。利用者の ZOOM には開始 30 分前に入りますので、30 分前から打ち合わせ等の対応をお願いします。
- ・要約筆記者が決まり次第、決定連絡をメール、または FAX でお知らせいたします。

2. 派遣当日について

- ・開始までの流れは下記の通りです。
※時間は目安です。状況によって、変更することも可能です。
- (1)開始1時間前:要約筆記者どうしで打合せを行います。(その際は利用者の ZOOM ではなく、聴言センターの ZOOM で行います。
打合せ後、要約筆記者は指定された入力場所で接続準備を開始します。
- (2)開始 30 分前:要約筆記者と打ち合わせをお願いします。※利用者に準備いただいた ZOOM で行います。(内容の確認など)
打合せ時に、参加者がすでに入室している場合など、場合によってブレイクアウトルームを作成いただき、そこで打合せをお願いします。
- (4)開始 10 分前:要約筆記者は情報保障に備えます。

- ・利用者は、Zoom 画面を表示して、ビデオをオンにし、発言者のマイクテストを行ってください。
- ・ハウリング対策のため、ミュートのオンオフをお願いします。また、要約筆記者から「音声が聞こえない」などの連絡があった場合は、要約筆記画面を確認した上で、改めて発言してください。

3. 通信状態によるトラブル時の対応について

要約筆記画面が見えない、また、音声がかんこえない、などのトラブル時の対応は、下記の通りです。

- ・申込書に必ず当日連絡がとれる連絡先(携帯番号、携帯メールアドレスなど)を記載願います。トラブルが起きた時の連絡先として、当日派遣をお願いする要約筆記者にお伝えします。
必要があれば、聴言センターもしくは当日派遣の筆記者から連絡させていただきます。当日、Zoomに双方ログインが完了している場合は、チャットを利用してください。
- ・要約筆記者全員の通信が途絶え、5分待っても再開されない場合、名身連聴言センターに連絡してください。5分以上経過しても、要約筆記者全員の状況が改善しない場合は、派遣を中断する可能性もあります。
- ・通信が復旧し、再開した場合でも、申込み時間通りの時間で終了いただくようお願いします。

4. 注意事項

- ・音声情報はZoomを使用して提供いただきます。
現地の音声が的確にパソコンに入力されるよう音量などにご留意ください。
- ・Zoomの録画機能を利用した録画は認めておりません。
内部資料としての録画をされる場合などは、事前に名身連聴言センターに相談ください。
- ・事前資料(スライド、読み原稿など)があれば、一週間前までにデータベースでお送りください。
- ・派遣終了後、終了時間の確認を要約筆記者とZOOM(チャットでも構いません)にてお願いします。

要約筆記派遣に関するお問い合わせ・お申込み

社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会
名身連聴覚言語障害者情報文化センター

メール: chogen@meishinren.or.jp

FAX:052-413-5853 / TEL:052-413-5885

※番号のおかけ間違いのないようご注意ください。

(月・木・金 9時~20時30分、火・土・日・祝 9時~16時30分 水曜休館)

<遠隔要約筆記派遣のイメージ図>

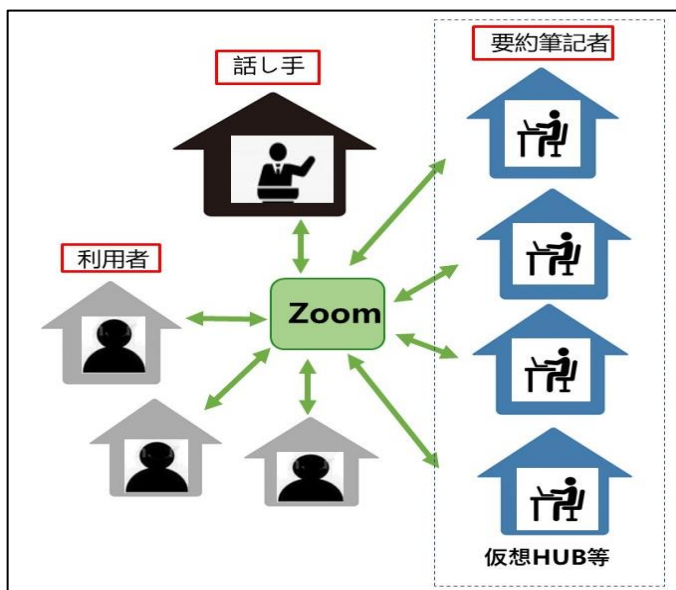


図 1:要約筆記者も利用者も全員在宅

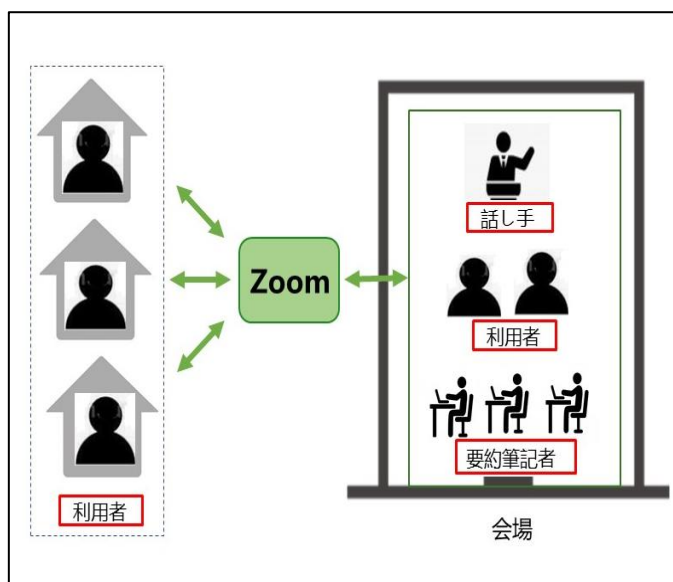
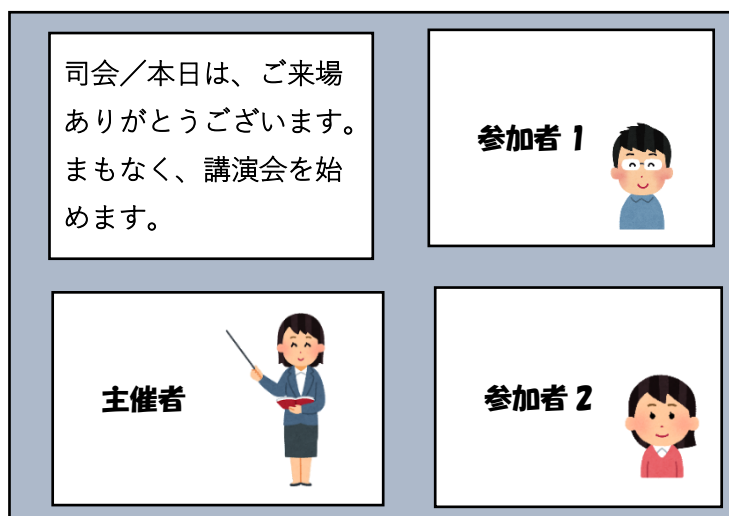


図 2:ハイブリッド形式（一例）

図 1、2 のように利用者と主催者がオンラインで参加する場合、遠隔要約筆記派遣での対応となる。他に利用者がオンラインと会場どちらにもいるハイブリッド形式もある。その場合は、要約筆記者が会場に行く場合もある。

※現在、遠隔要約筆記派遣は原則パソコン要約筆記で対応。

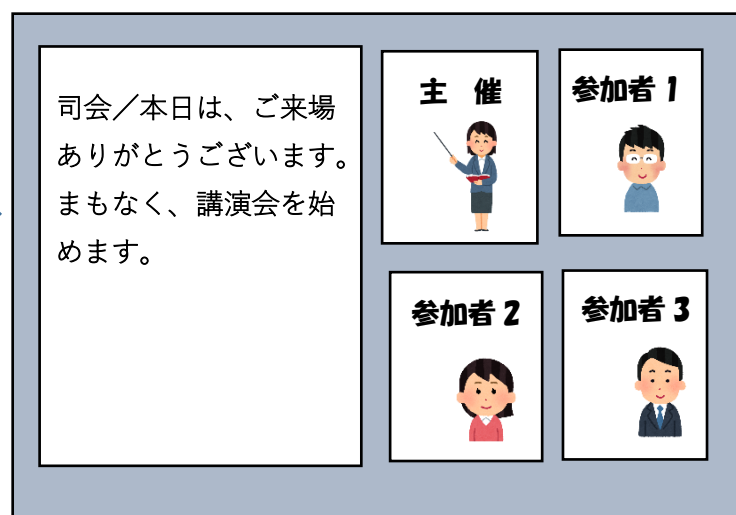
<遠隔要約筆記の表示方法例>



<例 1>

参加者と同様に Zoom に入室し、1 画面に要約筆記の文字を表示する方法。

※参加者が多いほど、1 画面が小さくなるため、要約筆記も小さい画面で見ることになる。ただし、主催の設定によっては大きく見ることできる。



<例 2>

Zoom の画面共有機能を使用し、要約筆記の文字を表示する方法。個人での設定にもよるが、図のように画面に大きく表示される。

※参加者が多い場合、右側に表示される人数は増えるが、要約画面は大きいまま表示。